

2019年度

日本民藝館展

—新作工藝公募展—

応募要項

◎趣旨

日本民藝館展は、柳宗悦の唱える「正しい」工藝の発展を図るために、暮らしに根ざした伝統的な手仕事と、素材のもつ健やかな美を宿す工芸品の出品を募って、その優秀作を展示紹介し、普及させることを目的とするものです。この目的に沿った「用に即し繰り返し作り得る品」を核とした出品を望みます。

◎運営

この展覧会は、日本民藝館運営委員会が組織し、運営します。

技とか腕の競争ではない。柳が見つけた魅力、愛らしさを見つきたいのだ。魅力は匠の上にあるもつと素敵な説明のつかないもの。日本民藝館展をそういう魅力あるもので埋め尽くしたいのだ。

日本民藝館展運営委員長

深澤直人

会期・12月14日(土)―12月25日(水)

会場・日本民藝館大展示室他

主催・日本民藝館

後援・日本民藝協会

応募問い合わせ先・日本民藝館

電話・03・3467・4527



—平成30年度日本民藝館賞受賞作—
ホームスパンスツール(部分) 岡田和恵(千葉県)

日本民藝館展出品作品を募集します。

◎募集分野

陶・磁・染・織・木・漆・硝子・金・石・竹・紙・編組、皮革など、
工芸の全ての分野。

◎申込搬入方法

①持参搬入の場合

全ての部門………11月1日(金)～11月4日(月・祝)

10時～12時、13時～16時

所定の出品目録に記入の上、出品物に出品料等を添えてご持参下さい。

②輸送搬入の場合

- a. 出品目録は出品物とは別に、郵送にて日本民藝館展事務局まで
お送り下さい。 10月30日(水)～11月4日(月・祝)必着
- b. 出品料等は左記口座へ11月8日(金)までに出品者名でお振込下
さい。

振込先 みずほ銀行 北沢支店(店番213)

普通…1484170 公益財団法人 ザイ 日本民芸館 ニホンミンゲイカン

※振込手数料はご負担願います。

c. 出品物の受付期間

染物、織物部門………11月1日(金)～11月4日(月・祝)必着
陶磁、木漆、その他の部門………11月7日(木)～11月10日(日)必着

③輸送・搬入場所

〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33 日本民藝館展事務局

④出品料・出品点数

出品者1名につき出品点数5点以内は8,000円。

出品者1名につき出品点数6点以上は11,000円。

組物は1点と数え、出品点数は1名につき最多10点までとなります。

⑤その他

・出品物の大きさに制限は設けておりませんが、会場の都合により
展示できない場合があります。

・搬出入・運送中の事故や不可抗力の事故・災害の場合を除き、主
催者側が責任を負います。

◎販売について

本展の趣旨により、出品物は会場にて販売致します。非売品は受付
けませんので、出品目録に販売価格の明記をお願い致します。なお、
販売価格の30%は手数料として本公募展の運営費に充当させていただ
きます。また、販売時は出品者記入の販売価格に消費税を加算致します。

◎搬出および返送料

入選作はできるだけ販売の斡旋を致しますが、残品となったものは、
2020年1月15日(水)～19日(日)の間にお引取りください。返送希望
の方には、会期終了後翌月中に返送致しますが、梱包料(1,000円)・
返送料・保険代金は出品者負担となります。なお、返送先の指定など
がある場合は、前もってご連絡願います。

◎審査委員

〔審査委員長〕 深澤直人（日本民藝館館長・プロダクトデザイナー）

〔審査委員〕 阿部眞士（作家）、伊田郁子（染織家）、小島貞二（染色家）、佐藤阡朗（漆工）、柴田雅章（作家）、伏見眞樹（漆工）、柳悦州（染織家）、杉山享司（日本民藝館学芸部長）

〔部門別審査委員〕 陶磁部門 阿部眞士、柴田雅章、杉山享司

織物部門 伊田郁子、柳悦州

染物部門 小島貞二

木漆工部門 佐藤阡朗、深澤直人、伏見眞樹

◎審査

〔一次審査〕 部門別審査委員による部門別審査を行います。部門別に該当しない分野（硝子・金工・紙工・編組品など）は全ての審査委員で、入選作および準入選作を選出します。

〔二次審査〕 全ての審査委員で最終選出および受賞作の選出を行います。

◎賞

日本民藝館賞……………すべての出品作の中で、最も優れた品

日本民藝協会賞……………日本民藝館賞に準ずる品

奨励賞……………本展の趣旨に適った工芸品として、奨励に価する品

◎入選作

民藝の美に根ざし、用に即した健やかな工芸品。入選作は展覧会会期を通じて陳列し、希望者には頒布します。

◎準入選作

入選には至らなかったが、日本民藝館展の趣旨に適った工芸品。準入選作は展覧会会場に陳列し、希望者には即日頒布致します。

◎審査結果発表 12月4日（水） 郵送にて審査結果を通知します。

◎表彰式・講評会

日時 12月11日（水） 11時～12時 受賞及び入選作の発表、全体講評

・ 12時～13時 昼食

・ 13時～16時 部門別講評

会場 日本民藝館

会費 1名につき3,000円（昼食代とも）

※参加ご希望の場合は、出品目録にご記入の上、出品料に会費を添えてお申込ください。なお、原則として、出品者以外の方はご参加できません。

※表彰式・講評会には出来るだけご出席ください。（要予約）

出品料および表彰式・講評会会費につきまして、長年の間、据え置いて参りましたが、運営全般に関わる経費の高騰のため、今年度より改定させていただきます。ご理解くださいますようお願い致します。

2019年8月吉日

休館日…月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）
開館時間…午前10時～午後5時（入館は4時半まで）
所在地…〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33
電話…03-3467-4527番
交通…京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

日本民藝館

—日本民藝館展 歴代の出品作—



鉄釉流丸文鉢 昭和 33 年個人賞
岡山・武内晴二郎 日本民藝館蔵



黒釉角火鉢 昭和 43 年日本民藝館賞
鹿児島・田中政幸 (苗代川焼) 日本民藝館蔵



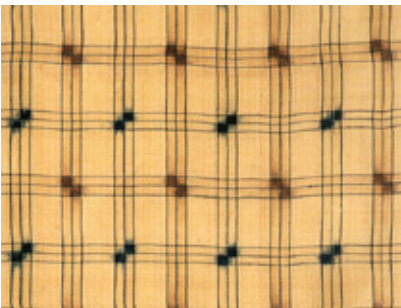
卵殻張銘々皿 平成 18 年日本民藝協会賞
岩手・光原社工房



竹籠 (きのこ入れ) 昭和 46 年入選
日本民藝館蔵



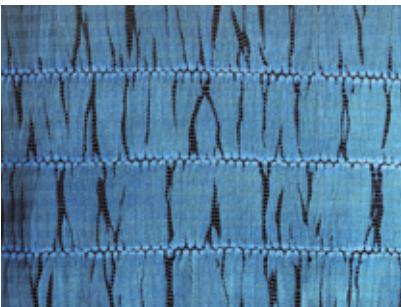
刷毛目打掛蓋付大壺 昭和 62 年入選
大分・小鹿田 大阪日本民芸館蔵



格子文芭蕉布 (部分) 昭和 41 年奨励賞
沖縄・平良敏子 日本民藝館蔵



絞手描花蝶文袖着物 (部分) 昭和 40 年頃
古澤万千子 日本民藝館蔵



絞染着物 (部分) 平成 10 年日本民藝館賞
大阪・岸野頼子 大阪日本民芸館蔵



絹格子着尺 (部分) 平成 8 年日本民藝館賞
群馬・伊田郁子 大阪日本民芸館蔵



荷背負蓑 昭和 46 年日本民藝館賞
山形 日本民藝館蔵